

2021 年度実施概要

学校名

気仙沼市立大谷幼稚園

採択活動名

おおやっこおたからハンター！大谷のお宝を探そう

～地域での体験とそこから広がる遊びを通して～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1.		
2.		
3.		

取り組みの概要

◎主な保育実践

(1) 【ミッション1 大谷探検をせよ！】

- 4月21日 園周辺の散策（年中・年長児）
- 6月11日 海洋幼稚園こどもサミット in 沼尻海岸（年長児）
- 6月15日 海の生き物を見てみよう！…地域で水揚げされた魚の観察（全園児）
- 6月24日 日門漁港見学（年長児）
 - ・定置網で獲れた魚の観察，マンボウの引き揚げ体験
- 10月4日 うみのようちえん…沼尻海岸散策（全園児）
- 10月25日 ドリームキャッチャー制作研修（教員）
- 11月11日 道の駅大谷海岸見学（年長児）
- 11月30日 うみのお兄さん・お姉さんと大谷海岸で遊ぼう！（全園児）
 - ・向洋高校との交流活動
- 12月15日 海の市見学（全園児）
- 2月22日 海の思い出缶をつくろう！（年長児）

(向洋高校で缶詰が作られている様子を動画で視聴)

・道の駅ごっこ（10月）

当初、新しくオープンした道の駅を全園児で見学することを予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止せざるを得なかった。そこで教師が道の駅を取材して作成した紹介動画を見せ、園内で買い物ごっこができるように準備を進めた。当日は日門網の皆さんにご協力をいただき、地域の海で獲れた魚を見たり、触れたりする体験も行った。みんなで道の駅に行くことはできなかったが、「道の駅に行ってみよう」と興味をもつきっかけになった。



マンボウの引き揚げ体験の様子



日門網で獲れたサメを触る様子

(2) 【ミッション2 ごっこ遊びや行事で遊びつくせ！】

- 6月17日～ 沼尻海岸ごっこ…制作遊び，ごっこ遊び（年長児）
- 6月29日～ 日門ごっこ…制作遊び，ごっこ遊び（年長児）
- 7月16日 うきうきわくわくおたからハンター夏まつり（全園児）
- 7月27日 寒天で遊ぼう！（年少児）
- 10月5日 道の駅ごっこ…日門網で獲れた魚の観察，お店屋さんごっこ（全園児）
- 10月6日～ おおやっこの道の駅ごっこ…制作遊び（各クラスごと）
- 11月1日 あきまつり～おおやっこの道の駅ごっこ～（全園児）
- 12月1日～ クリスマスドリームキャッチャー・飾り制作（全園児）



魚屋さんごっこでマグロの解体をする様子

・おおやっこの道の駅ごっこ（11月）

園内での道の駅ごっこを経験し、「今度は自分達でお店をやりたい」という声が幼児から上がった。そこで、各クラスで相談し、年少組は「サメカツバーガー屋さん」と「カフェ」、年中組は「おみやげ屋さん」、年長組は「魚屋さん」の準備を行った。道の駅の紹介動画や写真を何度も見たり、友達と相談してイメージを合わせたりしながら準備する姿が印象的だった。おおやっこの道の駅が開店すると、イメージに浸りながらごっこ遊びを楽しむ様子が見られた。



魚を配送する様子

(3) 【ミッション3 海のおいしいものを探せ!】

- 7月6日 ところてんと寒天ゼリー作りをしよう! (年長児)
- 7月7日 七夕誕生会会食…ところてん・寒天ゼリー (全園児)
- 10月5日 道の駅ごっこ会食…サメカツバーガー、わかめスープ (全園児)
- 1月17日 かまぼこ・はんぺん作りをしよう! (年長児)
- 1月18日 蒟蒻作り誕生会会食…手作りかまぼこ入りお雑煮 (全園児)

・ところてん作り（7月）

「海のおいしいものを探す」というミッションから本で調べ、ところてん作りが始まった。棒寒天を見たり、触れたりして、これが海藻だということを知ると、不思議そうに見つめている姿が見られた。棒寒天を煮詰めて次の日、固まったものを天突きで突いた。「難しいね」「力が必要だ」などつぶやきながらも、喜んで調理する様子が印象的だった。



ところてん作りの様子

◎成果と課題

(1) 成果

- ・年間を通して「おたからハンター」「ミッション」という合言葉を使って活動の軸を設定し、取り組んできた。「あきまつり」などではクラス毎に活動していても、「ミッション」等の合言葉があることで同じ目的に向かっていると感じやすく、幼児も教師も共通理解を図りながら進めることができた。
- ・園庭や地域で見つけたことを「お宝」としたことで、採集物を大切に扱ったり、「大谷にはお宝がいっぱいだね」などという発言が聞かれたりした。このような姿が地域への愛着心や地域の海を大切にする気持ちにつながっていくものと考ええる。
- ・新型コロナウイルスの影響で当初予定していた活動ができなかったり、内容を変更したりすることが多かった。しかし、その度に教師間で話し合い、どのようにしたらよいか考え、工夫しながら取り組んできた。その機会があったことで、教師自身も海のことさらに興味をもち、考えるきっかけとなった。

(2) 課題

- ・毎年継続している体験が型通りにならないように、幼児の興味や関心を見取りながら、進め方を教師間で練っていききたい。
- ・海洋幼稚園こどもサミットなど、他園との交流を通して大谷の海と他の地域の海の違いを知ったり、互いに伝え合ったりできるような活動も進めていきたい。

活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへ貼り付けた場合も、別ファイルでの添付をお願いします)